

秋田市立旭川小学校 5 年生へ森林教室を実施

令和4年6月28日、秋田市大平山自然学習センター「まんだらめ」において、秋田市立旭川小学校の5年生児童85名を対象に「総合的な学習の時間」を利用して森林教室を開催しました。

当日の天候は、あいにくの雨だったため一部予定を変更しての学習となりましたが、①森の働きについての座学、②植物のふしぎ学習、③伐採方法の学習と丸太の輪切り体験を行いました。

①では、森林の役割や大切さ、地球温暖化防止などについて、②では、クイズ形式による植物の増え方の学習や児童たちが実際に折り紙で種子に見立てた種を作り、種の飛び方を学んだりしました。③では、昔と今の伐採方法の違いを学び、実際に児童たちによるノコギリを使っての丸太切りを体験しました。一生懸命に挑戦して輪切りにした木は、ヤスリで磨いて家でも使用できるコースターとして記念に持ち帰ってもらいました。



森林の働き、大切さについての座学



植物のふしぎ学習



昔と今の伐採方法の話



ノコギリで丸太の輪切りに挑戦